

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. D-102

部門名: 4. 校内研修プログラム
開発・実践部門

エントリー名: 福井県立武生高等学校

活動名: 授業、生徒、学校を変える～授業改善PTの挑戦～

解決すべき課題:

大学入学共通テストや予測不可能な社会を生きるために必要な資質・能力の育成が明確でない。
 教員それぞれが、授業改善の必要性を理解しながらも、その方法を共有できていない。

目標: 教員有志で授業改善プロジェクトチーム(PT)を立ち上げ、「武高生に付けさせたい資質・能力について話し合い、授業改善の取組を実施し、PTで授業内容を共有・考察する。PTの取組の成果を校内に発信・普及し、さらに校外にも発信・普及する。(H29年2月から現在まで実践・継続中。)

方針: 授業の実践・研究(①アクティブ・ラーニング②ICT活用③教科横断型)を中心とした授業改善

活動内容: ①毎月1回のPT会議にて授業実践報告、自主研修を実施→写真1,表1

→自主的な公開授業(教科を問わず参観可能、指導案は作らない)

毎月1回のPT会議にて実践報告(20分程度)、リーダー中心で自主研修を企画立案

②月例職員会議にて授業実践報告を実施(5分程度)→写真2

→5分でPT会議の内容を伝え、教職員全体で共有

③授業実践を校外に公開、教員が指導観について深く思考し、指導力を涵養→グラフ1,2

→校内の公開授業(随時)、校外向け「公開授業・研究協議会」開催(11月)

④「BUKO Active 通信」→図1、「活動報告書」の作成

→「BUKO Active 通信」はPT会議の内容を通信にまとめ、教職員全体で共有、学校HPに掲載、「活動報告書」は活動内容とチームのメンバーの実践を記録

活動の成果: 【校内】…当初は授業改善をうたっていたが、②③④という価値ある副産物を生み出した。

- ① 教員の授業力向上…公開授業の増加、新しい挑戦や教材への探究心の芽生え。
- ② 教員同士の交流…ベテランも中堅も若手もお互いに学びあう姿勢。
- ③ 若手育成…若手教員の授業デザイン力、コミュニケーション力、教科指導力の育成。
- ④ 生徒につけたい資質・能力がまとまり職員室に掲示される→図2

【T】(Thinking/思考力) 【K】(Knowledge/知識) 【F】(Future/未来に向かう情熱・行動)
 【校外】…本校の活動を外部機関から価値づけしていただいている。

平成30年11月 第67回読売教育賞(カリキュラム・学校づくり部門)最優秀賞受賞

平成31年2月 第33回福井県教育総合研究所 研究発表会(研究発表Ⅱ)にて発表

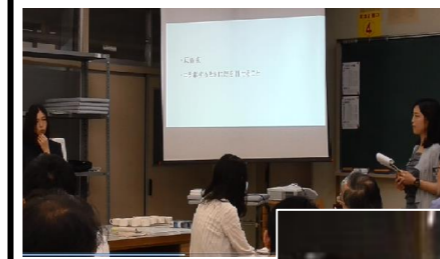
令和元年11月『月刊 高校教育 11月号』(学事出版)「ちょっと拝見学校訪問」掲載

令和元年11月 本校の「公開授業・授業研究会」が「福井県授業力向上リーダー研修会」を兼ねる。

令和元年12月 令和元年度日本教職大学院協会研究大会 ポスター発表参加(予定)

アピールポイント(アイデアや工夫):

- ① 自主性…問題意識を抱えた教員有志で立ち上げた経緯があり、校内でどの部署にも属さない自主的サークルであるので、「教員がやりたいこと」ができる。
- ② ゆるさ…現在メンバーは22名登録しているが、メンバーでなくても会議への出席は可能。会議への出入りを自由にするので、誰でも参加しやすくしている。リーダーに若手、顧問にベテラン教員を配置することで、運営はうまく機能している。
- ③ 教科横断型授業の実践…授業者がお互いの専門性を理解し、図らずもカリキュラムマネジメントにも繋がっている。H29～R1(10月まで)の教科横断型授業数はのべ11。



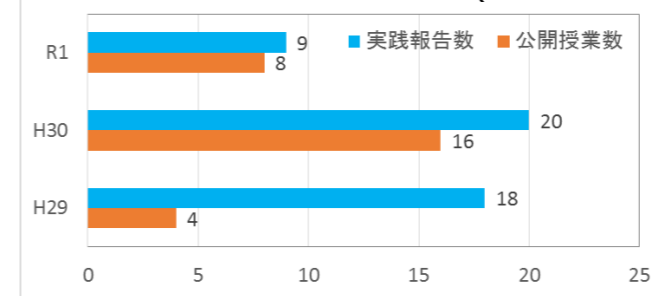
←写真1
PT会議
授業実践報告

写真2→
職員会議
授業実践報告

図2 生徒に付けたい資質・能力



グラフ1 PT授業実践、公開授業数(R1は10月まで)



グラフ2 11月公開授業・研究協議会参加

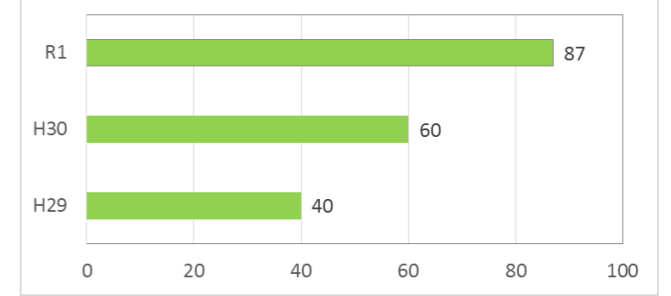


表1 R1 PT授業実践、研修一覧

月	実践した授業(*は公開授業)	教科(科目)	学年	授業者	PT研修テーマ
4	「水の東西」*	国語総合	1	辻崎 千尋	今年度PTを通じてチャレンジしたいこと
5	経済現象と数学*	数学	1	山崎 泰代	授業力向上リーダー研修報告会
6	「葛藤」が「深い学び」を生む～討論授業の取り組み～*	現代社会	1	相道 孝志	教育実習生を困らせずで手遅れ? 4・5月ごろの指導について
7	ポイル・シャルルの法則*	化学×英語	2	谷口 溪 アングス	家庭科との教科横断型授業を考える
	建築史と物理*	物理×世界史	3	小原 崇裕 室井 浩貴	
	ギターの弾き語りライブ*	音楽	1	宇野 智子	
9	宇宙ごみ*	英語×地学	2	山崎 泰代 糸見 千晶	思考力を問う考査問題
	古文に見る地学現象*	古文×地学	1	奥村 貢 辻崎 千尋	
10	数学×物理 ～ひとり教科横断型授業～	数学	2	今川 大輔	ICTを活用したスピーキング添削

↓図1 BUKO Active News(通信)

